



UIFA ニュース

発行 宇治市国際親善協会

事務局 〒611-8501 宇治市宇治琵琶33 宇治市役所秘書広報課内
電話 0774-22-3141 (内線2058) FAX 20-8776
Eメール hishokohoka@city.ujikyoto.jp ホームページ <http://uifa.news.coocan.jp>

第 82 号

平成30年(2018年)7月

平成30年度 総会を開催

平成30年度宇治市国際親善協会総会を5月12日(土)に宇治市生涯学習センターにて開催しました。総会では、平成29年度事業報告・決算が承認され、平成30年度事業計画・予算が議決されました。

今年度は、滞日外国人に対する防災対策として、(公財)京都府国際センター主催、宇治市危機管理室共催の災害多言語支援センター設置・運営訓練の実施を予定しています。



総会に先立ち、国際交流講演会『南米パラグアイ国で軍事政変(クーデター)に遭遇して～戦争を知らない世代の戦争体験～』が須河正博さん講師のもと開催されました。須河さんは宇治市内の中学校で校長としてご活躍されていました。

初めに、赴任されたアスンシオン日本人学校があるパラグアイの紹介をしていただきました。パラグアイの国旗は表と裏があり、真ん中に配置されている図が表は国章、裏には「平和と正義」と記したりボン、ライオンと自由の帽子が描かれているそうです。

次に、派遣決定から赴任までのことや同行されたご家族との現地での生活を写真を交えながらお話しいただきました。前任者、前々任者共にパリに赴任されていたので、当然パリに派遣されると思っていたら、パラグアイに派遣されることになり、戸惑ったとのこと。パラグアイでの給料はバブル時代に「円」で支払われたため、どんどん上がっていったとのことでした。何もなければ、広い庭とプール付の大きな家、メイドも雇った夢のような生活だったようです。ただ、良いことばかりではなく言語の問題やごみの出し方、買物の仕方もわからない生活で苦勞をされたとのことでした。

ある日クーデターが勃発します。夜中に突然爆発音と銃声が響き渡り、お子さんが目を覚ましたため、「花火の音だよ」とお子さんに伝え、不安にならないようにされたとのことでしたが、ご家族に申し訳ない気持ちでいっぱいだったとのことでした。クーデターは3日間で収束しましたが、その3日間はとても長く感じたことと思います。逃げ場のない恐怖や平和の大切さを身に染みて感じたこと仰っていました。

元校長だけあって、お話も大変分かりやすく、時には笑いを交えながら、参加者の興味を引きつけておられました。戦争に怯えずに過ごせる日本がどれだけ幸せかを実感する講演会となりました。



宇治市国際親善協会設立30周年記念DVDを製作しました!



宇治市国際親善協会は2017年に設立30周年を迎えました。これを記念して、宇治の魅力を10分程度で紹介するDVD(日本語版、英語版)を作成いたしました。会員の皆様には1枚を無償で配布いたします。郵送を希望された方には今号のUIFAニュースに同封してお送りしますのでぜひ一度ご覧ください。また、まだ受け取られていない方、2枚目以降(1枚200円)を希望の方は事務局までお申し出ください。

平成29年度

【事業報告】

1.啓発・研修事業

事業名	実施時期	事業内容	実施場所
①国際交流講演会	5月13日	国際理解推進を図るため、会員及び市民を対象に講演会「友好都市スリランカ・ヌワエリヤ市を訪問して」を開催	生涯学習センター
②協会ニュースの発行	年3回(7月、11月、3月)	各450～430部を発行し、各会員や友好都市関係団体などに配布した	
③ホームページ管理運営	適宜更新	事業のお知らせ・事業報告の掲載など	
④語学講座	10月4日～11月29日	会員や市民を対象に語学講座を実施した(全8回)。受講生:こども英会話16人、英会話初級17人、スペイン語初級9人(宇治国際交流クラブ共催)	生涯学習センター
⑤日本語講座	通年	市内在住の外国人を対象にした日本語講座を開催(宇治国際交流クラブ共催)	宇治公民館
⑥ボランティア養成講座	①9月15日～10月15日 ②10月20日～12月15日	①災害時に外国人をサポートするための講座を開催 ②市内在住の外国人に日本語を教えるボランティアの養成講座の開催	生涯学習センター
⑦中国帰国者向け日本語基礎講座	通年	中国帰国者を対象に日本語基礎講座を開催し語学力の向上と友好を深める(宇治ロータリークラブ・朋友館共催)	大久保青少年センター
⑧市民啓発	6月26日～6月30日	友好都市3市の写真展の開催	市役所1階市民交流ロビー

2.交流推進事業

事業名	実施時期	事業内容	実施場所
①友好都市からの訪問団の受入など	5/20～5/24	カムルーブス市からドンブロンリパーズ大学研修生を受入(学生25名、教員3名)(宇治国際交流クラブ共催)	生涯学習センターほか

3.その他の国際交流事業

事業名	実施時期	事業内容	実施場所
①各種国際交流・国際理解事業の支援	通年	協会加盟団体等が実施する国際交流・理解事業に補助金を交付して支援(交付団体数9)	
②関係団体との連携・協力	通年	関係団体主催事業への参加、協力、後援	
③府・他市町村との連携	通年	広報誌などを通じての情報交換、連携	
④(公財)京都府国際センターとの連携	適宜	(公財)京都府国際センターへの評議員派遣、国際交流団体等との連携を促進	
⑤滞日外国人に対する防災対策	適宜	宇治市に居住もしくは観光される外国人に対する防災対策の取り組み	
⑥30周年記念事業	通年	協会設立30周年を記念して事業を実施	
⑦お茶の京都博への協力	11/10、11/11	お茶の京都博のメインイベントの一つである宇治茶博田産案・国際交流への参加、協力	文化バルク城陽

【決算報告】

収入の部

項目	当初予算額	収入済額	差引増減	説明
1.会費	515,000	493,000	-22,000	1 個人会員 140人 278,000 2 団体会員 17団体 85,000 3 法人会員 13団体 130,000
2.補助金	2,500,000	1,000,000	-1,500,000	1 協会事業補助 1,000,000 2 公式市民訪問団派遣補助 0
3.負担金	160,000	200,000	40,000	1 語学講座参加者負担金 (@7,000×8人、@5,000×18人 @4,500×1人、@2,500×15人) 2 日本語ボランティア講座参加者負担金 (@2,000×6人) 188,000 12,000
4.繰入金	300,000	0	-300,000	1 周年記念事業繰入金 0 2 交流活動事業繰入金 0
5.繰越金	49	49	0	1 前年度繰越金 49
6.雑入	951	18	-933	1 預金利息 18
合計	3,476,000	1,693,067	-1,782,933	

支出の部

項目	当初予算額	支出済額	差引増減	説明
1.会議費	60,000	59,688	-312	1 総会・理事会・運営部会 59,688
2.事務費	120,000	29,680	-90,320	1 事務消耗品 17,160 2 印刷代 12,520
3.事業費	3,281,000	1,313,541	-1,967,459	1 国際交流講演会 36,777 2 会報発行 198,785 3 ホームページ管理運営 80,026 4 語学講座 274,452 5 日本語基礎講座 200,000 6 ボランティア養成講座 200,996 7 友好都市訪問事業 0 8 友好都市歓迎事業 175,615 9 海外友好交流推進事業 0 10 提携事業 131,474 11 防災対策事業 0 12 周年記念事業 0 13 お茶の京都博 15,416
4.諸支出金	10,000	290,000	280,000	1 構成団体会議出席負担金等 0 2 設立記念事業積立金 290,000
5.予備費	5,000	0	-5,000	0
合計	3,476,000	1,692,909	-1,783,091	

* 収入済額 1,693,067 - 支出済額 1,692,909 = 158 円は、翌年度に繰り越します。

平成30年度

【事業計画】

1.啓発・研修事業

事業名	実施時期	事業内容	実施場所
①国際交流講演会	5月12日	国際理解推進を図るため、会員及び市民を対象に講演会を開催する	生涯学習センター
②協会ニュースの発行	年3～4回	各450部を発行し、各会員や友好都市関係団体などに配布する	
③ホームページ管理運営	適宜更新	ホームページのお知らせ・事業報告等を掲載する	
④語学講座	10月～11月	会員や市民を対象に語学講座を実施する。全8回	生涯学習センターほか
⑤日本語講座	通年	市内在住の外国人を対象にした日本語講座を開催する(宇治国際交流クラブ共催)	
⑥ボランティア養成講座	9月～10月	市内在住の外国人に日本語を教えるボランティアの養成講座の開催	
⑦中国帰国者向け日本語基礎講座	通年	中国帰国者を対象に日本語基礎講座を開催し語学力の向上と友好を深める(宇治ロータリークラブ・朋友館共催)	大久保青少年センター
⑧市民啓発・国際理解交流	適宜	市民を対象に国際理解、交流を目的とした講座を開催する	

2.交流推進事業

事業名	実施時期	事業内容	実施場所
①友好都市への訪問団派遣など	10月	咸陽市への市民訪問団事業に協力	咸陽市
②来訪者歓迎・海外友好交流促進	適宜	外国都市からの来訪者の歓迎、友好都市をはじめ海外都市との友好交流促進	

3.その他の事業

事業名	実施時期	事業内容	実施場所
①各種国際交流・国際理解事業の支援	通年	協会加盟団体等が実施する国際交流・理解事業に補助金を交付して支援	
②関係団体との連携・協力	通年	関係団体主催事業への参加、協力、後援	
③府・他市町村との連携	通年	広報誌などを通じての情報交換、連携	
④(公財)京都府国際センターとの連携	適宜	(公財)京都府国際センターへの評議員派遣、国際交流団体等との連携を促進	
⑤滞日外国人に対する防災対策	①適宜 ②未定	①宇治市に居住もしくは観光される外国人に対する防災対策の取り組み ②災害多言語支援センター設置・運営訓練を実施予定((公財)京都府国際センター主催・宇治市危機管理課共催)	
⑥30周年記念事業	年度中	協会設立30周年を記念して事業を実施	

【予算】

収入の部

項目	本年度予算額	前年度予算額	増減	説明
1.会費	490,000	515,000	-25,000	1 個人会員 @2,000×130 260,000 2 団体会員 @5,000×18 90,000 3 法人会員 @10,000×14 140,000
2.補助金	1,500,000	2,500,000	-1,000,000	1 協会事業補助 1,000,000 2 訪問団派遣事業補助 500,000
3.負担金	160,000	160,000	0	1 語学講座参加者負担金 150,000 2 日本語ボランティア講座参加者負担金 10,000
4.繰入金	380,000	300,000	80,000	1 設立記念事業積立金より 380,000 2 交流活動事業積立金より
5.繰越金	158	49	109	1 前年度繰越金 158
6.雑入	842	951	-109	1 預金利息等 842
合計	2,531,000	3,476,000	-945,000	

支出の部

項目	本年度予算額	前年度予算額	増減	説明
1.会議費	60,000	60,000	0	1 総会会場・通信等 60,000
2.事務費	70,000	120,000	-50,000	1 消耗品代 40,000 2 印刷代 30,000
3.事業費	2,386,000	3,281,000	-895,000	1 国際交流講演会 40,000 2 会報発行 240,000 3 ホームページ管理運営 81,000 4 語学講座 300,000 5 日本語基礎講座 220,000 6 ボランティア養成講座 250,000 7 友好都市訪問事業 500,000 8 友好都市歓迎事業 100,000 9 海外友好交流推進事業 20,000 10 提携事業 180,000 11 防災対策事業 25,000 12 周年記念事業 380,000 13 市民啓発・国際理解交流 50,000
4.諸支出金	10,000	10,000	0	1 構成団体会議出席負担金等 10,000
5.予備費	5,000	5,000	0	
合計	2,531,000	3,476,000	-945,000	

わが家の国際交流

外国語指導助手とのビワイチサイクリング

川 野 智

好天に恵まれた6月2日(土)に、宇治市の小中学校で英語の指導に当たっている英語指導助手(AET)ハンター・ホイジュラット氏のたつての希望であったビワイチサイクリングを行いました。ビワイチとは琵琶湖をサイクリングで一周することで、近年、多くの都道府県でサイクリングロードの整備が進んでいます。

この日は、快晴の上にサイクリングにとって、最大のハードルとなる「風」がほぼ無風状態というベストコンディションの中、琵琶湖大橋から反時計回りに海津大崎までの86キロメートルを走りました。

チームは、先頭は私、中央にハンター氏、最後尾は私のロードバイクの友人の3台のロードバイクで構成し、後、ミニバン1台と大型バイクがサポート役として伴走しました。

8時20分に琵琶湖大橋のみさき自然公園から軽快にスタートを切り、左手に紺碧の色で鏡面のような琵琶湖を望みながら近江の道を進み始めました。3人とも体調は万全で、すがすがしい空気で肺を満たしながらの走行です。途中、チェックポイントを4カ所設定し、ゴールは海津大崎のリゾートホテル前としました。

サイクリングロードには、多くのサイクリストが走っており、車道とサイクリングロードもほぼ分離されているので、安全に走行できました。

自転車で旅をすると、電車や自動車では味わえない楽しみがあります。それは、直に旅先の人々の生活や暮らしの雰囲気に触れることができるからです。今回も近江や長浜、湖北の田園や町々の風景を楽しみながら、午後1時30分頃ゴールの海津大崎に全員元気に到着することができました。

ニューヨーク市民であるハンター氏からは、米国ではなかなか味わえない素晴らしい日本の風景を、サイクリングによって直接肌で触れることができ大変うれしく思いますとの感想をいただきました。

今後も、このような活動を通じて国際親善の一助になればと思っています。



事務局では、当コーナーに掲載する協会会員皆様からのお便りを募集しています。旅行記や体験手記など国際交流に関する内容であればテーマは問いません。掲載をご希望の方は、郵送、Eメール、またはFAXにて協会事務局までお願いします。掲載は各号1～2人を予定しています。ただしその他の記事の関係上、記載できない場合もございます。(応募先は1面上を参照)

内 容：事実にもとづいて書かれた未発表のもの

字 数：800字以内 ※可能であれば写真もご提供ください。

応募の際はお名前とご連絡先を忘れずに明記してください。

語学講座 参加者募集

楽しいこども英会話(①小学1～3年生向け、②小学4～6年生向け)、

③初級～中級英会話、④初歩のスペイン語講座を開催します。奮ってご参加ください。

日 程：10月10日(水)～12月5日(水)(10月17日を除く毎週水曜日)

時 間：①午後6時45分～7時30分 ②午後7時30分～8時15分 ③④午後7時～8時30分

場 所：生涯学習センター

定 員：①②各10名(先着順) ③④各15名(先着順)

受講料：①②国際親善協会会員(保護者)2,500円 ・ 一般4,500円

③④国際親善協会会員5,000円 ・ 一般7,000円

教材費：別途

申 込：9月10日(月)から宇治市国際親善協会事務局(宇治市秘書広報課内)へ 電話 20-8701

咸陽市への訪問団員募集！ 「そうだ 咸陽、“もう一度 咸陽” 宇治市と友好都市の咸陽市と上海の旅」

平成30年(2018年)10月に、宇治市の友好都市中国・咸陽市に宇治市日本中国友好協会による市民訪問団の派遣を予定しています。現在、以下の内容で事業を予定しておりますので、訪問を希望される方を募集します。

【中国・咸陽市訪問事業】（※事業内容については多少変更することがあります）

◎主催 宇治市日本中国友好協会

◎訪問期間 平成30年(2018年)10月15日(月)～10月21日(日) 6泊7日

◎訪問先 咸陽市(4泊)・上海市(2泊)・周荘 等

◎募集期間 平成30年(2018年)7月30日(月)～8月10日(金)

◎費用 165,000円

◎募集人員 20名

※人員が超過する場合は先着順とします。また、同一日で複数の応募により超過する場合は、超過した日の応募者の中で抽選を行います。

◎応募資格 宇治市国際親善協会会員又は宇治市日本中国友好協会会員の方

※非会員の方は協会に入会の申込みをしていただければ応募できます。

◎スケジュール

日程	行程	日程	行程
1日目	大阪 → 咸陽市	5日目	咸陽市 → 上海市 上海観光
2日目	宇治の森(植林地)にて交流、乾陵その他		
3日目	華山(終日)ロープウェー	6日目	周荘観光
4日目	兵馬俑、陝西省博物館、その他	7日目	上海 → 大阪



◎申込先 宇治市国際親善協会 事務局(宇治市秘書広報課内) 連絡先: 20-8701

◎お問合せ 宇治市日本中国友好協会 矢野
連絡先: 090-3847-0263

参加者募集 日本語支援ボランティア 養成講座

今年も「日本語支援ボランティア養成講座」を開催します。この講座は日本語を学びたいと思っている外国の人に、日本語の学習支援を行うボランティアを養成します。日本語で日本語を教えますので英語が話せなくても大丈夫です。日本語支援ボランティアとして活動するために必要な知識を学び、地域の日本語教室などで活躍してみませんか。今年度は意見交換の時間を設けます。既に活動されている方は日頃の悩みや思いを述べる場として、これから活動しようと考えておられる方には先輩たちの意見を聞ける貴重な時間となると思います。ぜひご参加ください。

日時: 9月14日(金)～12月7日(金)午後7時～8時半
(11月23日を除く毎週金曜日)全12回

場所: 生涯学習センター第3ホール

定員: いずれも先着20名(初めて受講される方優先)

受講料: 国際親善協会会員 無料・一般 2,000円

教材費: 別途

申込: 8月20日(月)から宇治市国際親善協会事務局
(宇治市秘書広報課内)へ
電話 20-8701

雑観雑感

宇治市とカムループス市とは、平成2年に友好都市条約を結びました。以来今日まで様々な個人や団体がお互いの都市

を訪問し、28年にわたって交流を積み重ねています。また平成4年度に始まった宇治市中学生カムループス市訪問団派遣事業は今年度で25回目となり、参加団員数は今回訪問する12人を加えて総計で257人となります。

私の友人に、宇治市でカナダの方と出会い、結婚を機にカムループス市に移住した人がいます。その友人は現在、家族とともにホストファミリーとして中学生訪問団を受け入れています。訪問団の報告書に掲載された友人の写真をみると、遠くカナダで暮らす生活を想像し、これまでに友人と一緒に旅をした海外の国々を懐かしく思い出します。

カムループス市を訪問する子どもたちは、カナダの大自然や文化を直接感じる素晴らしい体験することができます。けれども、一番素晴らしいのは、ホストファミリーの温かい人柄やおもてなしに触れ、国籍や言葉が違っても、人と人との気持ちのつながりを持てることを、実感を持って学ぶことだと思います。

友人とともに旅をしてから20年ほどがたちました。社会は変化していき、国際結婚は珍しくもない普通の出来事となっています。これからの社会を創る子どもたちには、様々な国籍の人たちと生活することを当たり前のように受け入れ、その人たちの国や文化に興味を持って、人間関係や世界を広げていく、新しい国際交流の担い手となってほしいと願っています。(R.N)